

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 准教授 岡島 由以子

取組状況	
教育	<p>本科では、(1)英語Ⅱ(機械・生産)、(2)基礎英語演習Ⅱ(2年選択)、及び(3)英語Ⅳ(電気電子)を担当した。</p> <p>(1)(2)英語Ⅱ、基礎英語演習Ⅱでは、提出物、小テストの機会をこまめに設けることにより、また、板書や口頭による説明で伝える情報量を絞り、和訳の発表や演習問題といった学生主体のアクティビティを多く取り入れたことで、能動的な学習機会を提供し、基礎的な英文法、語彙を定着させられたと感じる。多くの学生から、わかりやすい、力がついている実感があるとの声が聞かれた。</p> <p>(3)英語Ⅳでは、毎回の授業でTOEIC演習を取り入れ、授業内で定期的にTOEIC模試を実施した。英語学習に対する学生の意識向上に効果的であったと思われる。</p>
研究	<p>(1)シェイクスピア作品に見る英雄・魔女表象とジェンダーの問題についての考察</p> <p>英雄表象、魔女表象に現れる異人とジェンダーの問題に焦点を当て、The Merchant of Veniceや Othello、Antony and Cleopatra等複数のシェイクスピア作品のテキスト分析を試みた。その結果、「所有と支配の政治力学に見るジェンダー表象」という、英国ルネサンス期の社会において、より重要なテーマに踏み込んで研究を発展させられる可能性も出てきている。しかし、今年度は英語論文として、形ある成果を残すことはできなかった。論文執筆に向け、先行研究の整理とさらに緻密なテキスト分析、関連する社会史的背景の調査を行っていく予定である。</p>
社会貢献	<p>(1)実用英語技能検定2次試験面接委員</p> <p>実用英語技能検定2次試験に面接委員として参加した。準1級、2級、3級を担当した。</p> <p>(2)品川区ビジネスカタリスト</p> <p>品川区のビジネス・カタリストに技術英語の分野で登録し、品川区内の株式会社による化学製品のSDSの英語翻訳版を完成させた。</p>